

3類型	鋳工業品	通巻番号	3-23-177
地域資源名	木曽材木工芸品	認定日	平成24年2月3日
地域	長野県木曽郡木祖村	所管省庁	農林水産省、経済産業省

## 事業名:木曽の木材・木工芸を活用した「新和風額縁」事業化プロジェクト

会社名:マルオカ工業株式会社

所在地:長野県木曽郡木祖村藪原232-7

連絡先:TEL:0264-36-2137  
FAX:0264-36-2025

H P: <http://www.maruoka.co.jp/>

### 事業概要(新たな活用の視点)

木曽は古くから建築材の木材産地として多くの木材を産出してきた。また、現在では木曽五木としてブランド化され、広く親しまれている。しかし、近年、低価格の輸入材の台頭による国内材需要の低迷により、出荷量が減少し危機的状況である。

本事業では、木曽木材を使った木曽材木工芸品、木曽漆器等と新技術である3Dモデリングシステムを融合し、新デザイン・高品質で価格競争力のある額縁「新和風額縁」を開発する。



黒漆塗りの和風額縁

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

新商品の「和風感覚の額縁」は、木曽天然木材をベースに木曽漆等も含めた和風デザインを取り入れた「まさにワビサビのきいた本物の額縁」とし、これに当社の木工技術、開発する3Dモデリング技術を活用することで、短納期・高品質・低コストを狙う。

#### ◆市場性

絵画用額縁は欧州などから輸入された洋風スタイルが主で、日本独自のワビ・サビの感じられる落ち着いたものがなかった。しかし、価値観の多様化やオリジナリティーの追求に伴い、これら和風感覚の額縁もが必要とされている。絵画等への愛好家の増大で確実な市場確保が狙える。

#### ◆販路

主要顧客として想定している絵画のプロ・専門家を主顧客として狙う。また、本物志向のアート・絵画に興味があるシルバー世代もターゲットとする。



沈金を施した和風額縁

### 地域資源における関係事業者との連携

- ・デザイン支援:木曽青峰高校インテリア科
- ・木材供給:木曽森林組合、藪原製作所
- ・技能支援:日本伝統工芸士小坂進、木曽漆器工業協同組合
- ・技術支援(3D技術):周辺地域の企業



木曽材タモを使った和風額縁